

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 9 月 25 日 (2014.9.25)

【公開番号】特開 2012-48232 (P2012-48232A)

【公開日】平成 24 年 3 月 8 日 (2012.3.8)

【年通号数】公開・登録公報 2012-010

【出願番号】特願 2011-177177 (P2011-177177)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

C 0 8 K 5/521 (2006.01)

C 0 8 L 79/08 (2006.01)

C 0 8 L 83/10 (2006.01)

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

B 0 5 D 1/30 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

B 0 5 D 3/02 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 5 1 5

C 0 8 K 5/521

C 0 8 L 79/08 Z

C 0 8 L 83/10

C 0 8 J 5/18 C F G

B 0 5 D 1/30

B 0 5 D 7/24 3 0 2 X

B 0 5 D 3/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 8 月 11 日 (2014.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像形成システムとともに用いるのに適したつなぎ目のないベルトを作成する方法であって、

ポリイミド、リン酸エステルを含む内部剥離剤、溶媒からなる組成物を回転基板の外側表面にフローコーティングすることと；

当該コーティングを約 125 ～ 約 190 の温度で約 30 ～ 約 90 分かけて部分的に硬化させ、部分的に硬化したベルトを作成することと；

部分的に硬化した前記ベルトを回転基板から自己剥離により取り外すことと；

部分的に硬化した前記ベルトを、2つのローラーの間で約 1 kg ～ 約 10 kg の張力により引っ張りながら、約 250 ～ 約 370 の温度、約 30 ～ 約 90 分間の条件で硬化させることと；

を含む、方法。

【請求項 2】

前記組成物が、ポリエステル修飾されたポリジメチルシロキサン、ポリエーテル修飾されたポリジメチルシロキサン、ポリアクリレート修飾されたポリジメチルシロキサン、ポ

リエステルポリエーテル修飾されたポリジメチルシロキサンからなる群から選択されるポリシロキサンポリマーをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記リン酸エステルが、アルキルアルコールエトキシレートホスフェート、アルキルフェノールエトキシレートホスフェート、アルキルポリエトキシエタノールホスフェート、アルキルフェノキシポリエトキシエタノールホスフェートからなる群から選択され、前記ポリイミドおよび前記リン酸エステルが、約 20 / 80 ~ 約 80 / 20 の重量比で存在する、請求項 1 に記載の方法。